

## 喫煙防止教育講話 《タバコって何だ?》

4日(火)の午後、体育館で5・6年生を対象に、《タバコって何だ?》の喫煙防止講演会を実施しました。講師は「無煙世代を育てる会」代表で、下妻市の平間病院院長でもある平間敬文先生。

講師紹介を兼ねた校長の話の中で、校長が「家の人がタバコを吸っているという人、手を挙げてみてください」と問いかけたところ、8割近くの児童が手を挙げていました。身近でタバコの煙に接している児童が、本校でも多いというのを知る機会ともなりました。

子供たちにタバコの害について正しい知識を持ってもらいたいという平間先生の話は、コミックなどの映像を使いながら分かりやすく解説を加えた話で、終始柔和な先生の語りぐちに、子供たちも熱心に聞き入っていました。4日の夜、講話を聞いた子供たちから、夕食時などにさっそくタバコの害についての話題提供があったのではないのでしょうか。

《タバコって何だ?》、この問いに本校の5・6年生はしっかり答えてくれるはずです。



## 12日は学校の誕生日(創立記念日)

11月12日(水)は、城西小学校の創立記念日です。創立記念日は一昨年まで休業日になっていましたが、昨年度からは授業日となっています。

さて、城西小学校は昭和59年4月1日に、城南小学校と結城西小学校から分離統合する形で開校しました。今年が開校25年目に当たります。開校した昭和59年4月の児童数は561名で15学級、今より252名も多い児童数となります(ちなみに開校当時、現在教務の江田先生は4年生の担任でした。25年も前の話、お父さん・お母さんで江田先生に担任してもらったという保護者がいるかもしれません)。

昭和59年の学校の資料を調べたところ、11月12日に校歌の歌詞ができあがったということで、それを記念し創立記念日にしたと記録されていました(なるほど)。曲が完成したのはそれから1か月後の12月23日でした。当時のPTA広報誌『城西の友』2号(昭和59年12月10日発行)にも創立記念日設定理由ということで、「校歌作詞完了の日をえらび十一月十二日を創立記念日とすることで協議が進められてきた」と記されていました。作詞された川上宏昭先生は、茨城県の「県民の歌」や「国体音頭」なども作詞されている方で、当時、高校の校長先生でした。



校章についても創立年度のパンフレットに印刷されていたので早々に考案されたものと思いますが、何時の時点でだれがというのは残念ながら不明です。ただ、校章のいわれについては「まわりは桜の花を配し、中央は「西小」と文字をデザインし、たてに「城西」とわかりやすく書いた。団結と規律を表現したもの。」とデザイン原画に書いてありました。

結城では一番新しい小学校。12日の創立記念日をむかえるに当たって、校訓【創造・友情・健康】の意味するところをしっかりと踏まえ、「自ら学び、心豊かでたくましい城西っ子を育てていくことを改めて職員一同で確認しているところです。

校長のひとりごと 本校元PTA会長(11代)の土田構治さんが結城市の新しい教育委員に任命されたと広報結城『YUKI』11月号に掲載されていた。教育の問題にも造詣の深い土田さんはまさに適任で、市教育の発展のために、大変喜ばしいニュースとして受け止めさせていただいた。